

月例経済報告（2022年12月）

● 月例経済報告（12/21）

| | |
|-------------|--|
| 基調判断 | <p>(12月) 景気は、緩やかに持ち直している。 ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染動向に十分注意する必要がある。</p> <p>(11月) 景気は、緩やかに持ち直している。 ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。</p> |
| 個人消費 | <p>(12月) 緩やかに持ち直している。</p> <p>(11月) 緩やかに持ち直している。</p> <div data-bbox="660 521 1383 927"> <p>消費総合指数と実質総雇用者所得</p> </div> |
| 設備投資 | <p>(12月) 持ち直している。</p> <p>(11月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="660 927 1383 1332"> <p>製造業・非製造業の設備投資(名目額)</p> </div> |
| 住宅建設 | <p>(12月) 底堅い動きとなっている。</p> <p>(11月) 底堅い動きとなっている。</p> <div data-bbox="660 1332 1383 1738"> <p>住宅着工戸数(季節調整値)</p> </div> |
| 雇用情勢 | <p>(12月) 持ち直している。</p> <p>(11月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="660 1738 1383 2136"> <p>雇用者数、就業者数の推移</p> </div> |

| | | |
|--------|--|--|
| 生産 | (12月) 持ち直しの動きに足踏み がみられる。 | <p>鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移 (2015年=100)</p> <p>在庫率 (目盛右) 出荷 生産 在庫 (目盛右)</p> <p>予測調査</p> <p>2009 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 (年)</p> |
| | (11月) 持ち直しの動きがみられる。 | |
| 輸出 | (12月) おおむね横ばいとなっ ている。 | <p>地域別輸出入数量指数 ①輸出 (2015年=100)</p> <p>全体 ▲2.0% 11月 ▲2.0% 3MA ▲0.3% アジア ▲5.2% 11月 ▲5.2% 3MA ▲2.1% アメリカ ▲5.6% 11月 ▲5.6% 3MA ▲4.3% EU 11月 +2.8% 3MA +3.1%</p> <p>全体 アジア (58.0%) アメリカ (17.8%) EU (9.2%)</p> <p>2008 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 (年)</p> |
| | (11月) おおむね横ばいとなっ ている。 | |
| 国内企業物価 | (12月) 上昇している。 | <p>企業物価の推移 (2020年=100)</p> <p>輸入物価 (目盛右) 国内企業物価 輸出物価 (目盛右)</p> <p>2008 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 (年)</p> |
| | (11月) 上昇している。 | |
| 消費者物価 | (12月) 上昇している。 | <p>消費者物価の推移 (2020年=100)</p> <p>生鮮食品及びエネルギーを除く総合 (政策等による特殊要因を除く) (太線) 生鮮食品を除く総合 生鮮食品及びエネルギーを除く総合 (破線) 総合</p> <p>2010 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 (年)</p> |
| | (11月) 上昇している。 | |
| 海外経済 | (12月) 世界の景気は、一部の地域において足踏み がみられるものの、緩やかな持ち直しが続いて いる。 先行きについては、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めが進む中での 金融資本市場の変動や物価上昇、供給面での制約等による下振れリスクの高まりに留意する必要がある。 | <p>(11月) 世界の景気は、緩やかな持ち直しが続いている。 先行きについては、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めが進む中での 金融資本市場の変動や物価上昇、供給面での制約等による下振れリスクの高まりに留意する必要がある。</p> |
| | (11月) 世界の景気は、緩やかな持ち直しが続いて いる。 先行きについては、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めが進む中での 金融資本市場の変動や物価上昇、供給面での制約等による下振れリスクの高まりに留意する必要がある。 | |